

梁川高校における読書活動推進へ向けた取り組み

1 学校の概要

- ①所在地 福島県伊達市梁川町字鶴ヶ岡33番地
- ②学級数・生徒数 6クラス・53名
- ③学校図書館の蔵書数 30,594冊（令和5年1月現在）

2 読書活動推進へ向けた取組

(1) 生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

- ・図書展示コーナーの充実

◆館内入口付近で月毎にテーマを設けて蔵書の紹介を行っている。



- ・図書館を利用しやすくするための環境整備

◆読書を呼びかけるメッセージや親しみやすい飾り付けの設置

◆校内掲示スペースを活用しての新刊紹介

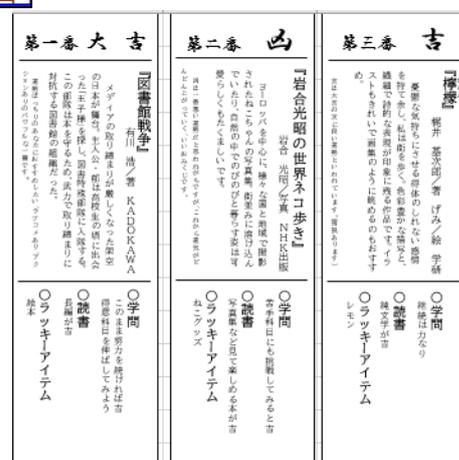


- ・図書を探しやすくする表示の工夫

◆NDC（日本十進法分類法）についての理解を深め、効果的に活用できるよう、利用者の興味を引くデザインの表示や書架ラベルを作成している。

- ・「リクエストカード」による生徒購入希望図書の購入
- ・長期休業中の特別貸出
- ・図書館だより、図書館報の発行による広報活動
- ・進路関係、就職試験対策関連図書の充実
- ◆専用のコーナーを設けて展示している。

- ・図書館で定期的に読書を呼びかけるイベントの開催
 - ◆新たな本との出会いのきっかけとなることを期待して行っている。



- (2) 学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組
- ・新入生対象の図書館利用オリエンテーションを実施している。
 - ・クラスごとの図書室利用の割り当てを LHR の年間計画の中に組み込んでいる。
 - ・国語科で図書館の資料を活用した授業を行っている。
 - ・各学年で読書を読みかせる工夫を行っている。

◆2 学年では 1 学期に週一回朝読に取り組んだ。読んだ後は、読書カードに心を動かされた文章を書き写し、感想等を書かせた。



2 学年 クラス前の廊下に設置



1 学年 教室内に設置



古典の授業で図書館を利用

◆1 学年では、様々な分野の本を学級文庫として置いている。休み時間や朝の SHR 前のちょっとした時間に手に取っている生徒が多い。

- (3) その他

保健室に、気軽に読める絵本や身体・心に関する本をそろえた図書コーナーを設置している。